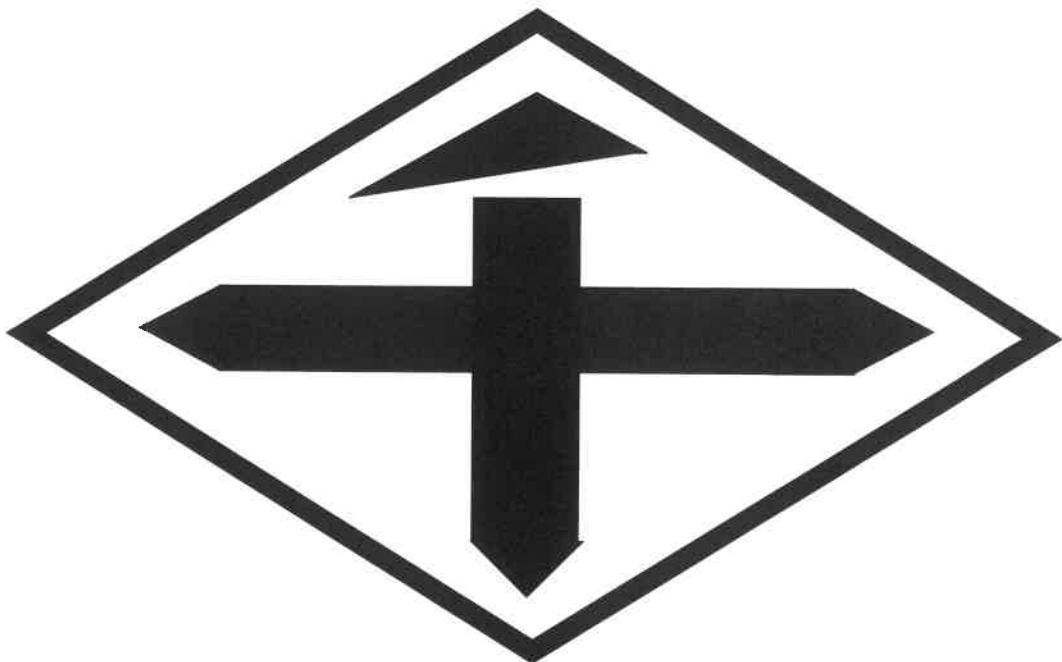


令和 6 年度

# 【後期】学校評価結果報告



令和 7 年 1 月

八幡浜市立千丈小学校

## 第3回 学校関係者評価委員会

八幡浜市立千丈小学校

1 日 時 令和7年1月10日（金）18:30～19:00

2 場 所 千丈小学校 校長室

3 参加者	PTA会長	北川 宜秀	松柏中学校長	村上 剛
	千丈地区公民館長	和田 憲治	千丈小学校長	松本 勇人
	民生児童委員	田中 良三	" 教頭	稻田雄一郎
	主任児童委員	向井 純子		
	青少年補導員代表	渡邊 太志		

### 4 内 容

#### (1) 開会あいさつ（校長）

新学期が始まり、子どもたちの声が校舎やグラウンドに響き、千丈小学校に活気がもどってきた。3学期は今年度の仕上げをしっかりと行なっていきたい。今年度最後の会となるが、忌憚なく意見を出していただき、子どもたちの指導や見守りにつなげられたらと思う。

#### (2) 後期学校評価報告（教頭）※結果資料参照

#### (3) 意見交換（各委員から）

##### ア 児童の様子

- ・ ネット、ゲーム依存については、中毒のような状態になっている児童も見られ、それによつて生活のリズムが崩れてしまうと、取り返しがつかない状況になってしまふ。家庭のルールをしっかりと決めて、それを守つていけるように継続して啓発していく。
- ・ 挨拶については、日頃の取組により笑顔で元気いっぱいの挨拶ができる児童が大半である。現在は、中学生もしっかりと挨拶ができてるので先輩たちを手本にしてほしい。
- ・ 読書に関する評価が、保護者・児童共に伸び悩んでいる。学校で推奨していることは知つているが、親子で読書をしたり本の内容を話題にしたりすることで、親子揃つて本に親しむことも大切だと思う。

##### イ 学習指導について

- ・ 一人一台端末等の活用により、従来よりも効果的な学習活動を進めることができている。家庭への持ち帰りについても負担にならない程度を見極め、適切に使用できている。
- ・ 高等学校の統合を控え、八幡浜高等学校はもとより近隣の学校の様相が大きく変わつてくる。場合によっては、八幡浜市の多くの子どもが地元の高等学校に進学できないということも起つりうる。学力の定着にさらに力を入れていかなければならぬ。

##### ウ その他

- ・ 中学校の統合により、今後松柏の児童生徒は自転車通学がほとんどになる。中学校進学までに、通学路での自転車の乗り方について訓練をする場が欲しい。
- ・ 来年度から、これまでのブロック体制が学校運営協議会へ移行していく予定である。今後も校区の教育活動にご尽力いただきたい。

#### (4) 閉会あいさつ（PTA会長）

今年度3回目で最後の会となつたが、活発な意見交換ができたよかつた。見えてきた課題を今後の取組に生かしてほしい。1年間、ありがとうございました。

## 令和6年度後期学校評価 教育計画に基づいた考察

マイナス評価減少 約0.1以上向上

マイナス評価増加 約0.1以上悪化

はい → いいえ

1	2	3	4	計	平均
---	---	---	---	---	----

### 1 つながりを大切に、共に伸び合う学校

児1	学校に行くのは、楽しい。	前期	74%	20%	6%	0%	86	1.31
		後期	77%	20%	2%	1%	86	1.28
保1	お子様は、楽しく学校に通っている。	前期	64%	35%	1%	0%	77	1.38
		後期	65%	34%	0%	1%	80	1.38

ほぼ変化は見られない。ほとんどの児童が楽しいと回答しているので、よい傾向であると言える。楽しくないと答えている児童については、2学期末に個別に相談等を行っている。大きな問題を抱えている児童はいなかつたが、児童自身が「楽しい」と思えるようにするために、学校生活にやりがいを感じられるよう、児童相互、児童と教師との温かいかかわりを大切にしなければならない。

### 2 基礎・基本の定着（授業・チャレンジタイム・補充学習・読書活動）

児2	授業には、楽しく参加している。	前期	74%	21%	5%	0%	86	1.30
		後期	74%	21%	2%	2%	86	1.33
児3	授業は、分かりやすい。	前期	74%	26%	0%	0%	86	1.26
		後期	70%	28%	1%	1%	86	1.34
児19	家で、毎日、宿題や自主学習などの勉強をがんばっている。	前期	67%	28%	3%	1%	86	1.41
		後期	73%	20%	7%	0%	86	1.34
児23	平日（月～金）の家庭学習時間はどれくらいですか。（塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。）	23	2%	13%	42%	40%	1%	
児24	休日（土、日、祝日）の家庭学習時間はどれくらいですか。（塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。）	24	0%	8%	22%	28%	33%	9%



■3時間 ■2時間 ■1時間 ■30分 ■15分 ■まったくしない

児25	読書の日（月曜日）には、どれくらいの時間、本を読んでいますか。	25	15%	51%	33%	1%		
		【前】	25	6%	62%	28%	5%	

■1時間以上 ■30分～1時間 ■30分以内 ■まったく読まない

保2	学校は、基礎学力の定着と学力向上に努めている。	前期	48%	47%	5%	0%	77	1.57
		後期	53%	45%	3%	0%	80	1.50
保16	お子様は、読書の日（月曜日）には、本を読んでいます。	前期	23%	42%	31%	4%	77	2.16
		後期	19%	46%	31%	4%	80	2.20
保17	お子様は、宿題や自主学習（予習・復習等）をする習慣を身に付けています。	前期	38%	51%	12%	0%	77	1.74
		後期	40%	46%	14%	0%	80	1.74

- ・「授業が楽しい」と思っている児童が多く、日々の授業での工夫や児童相互の対話の場の設定などがよい結果につながっていると考える。「楽しい」と思わない児童数名については、教科や領域、単元内容等によってむらがあるようなので、自分があまり得意ではない内容に対してもポジティブに捉えて学習を進められるように、支援を継続していく。
- ・読書については、前期に比べると若干読書時間が減少するとともに、保護者の評価もわずかにポイントが下がっている。習慣化を図るためにには、発達段階に合わせた本との出会い方や個に応じた工夫、家庭生活のルーティンへの組み込み方など、今後も検討していく必要がある。
- ・主に学力アップ週間に自主学習に取り組んでいる。「けてふれ」学習法を奨励したり、自主学習ノートの取組を互いに評価し合ったりすることで、時間だけでなく方法・内容も充実させていきたい。まだまだ個人差はあるものの自主学習のよい習慣が身に付いている児童が多い。主体的に学ぶ態度を育てるために、今後も引き続き指導していく。

### 3 思考力・判断力・表現力の育成（主体的・対話的で深い学び、授業改善）

児4	授業で意欲的に自分の思いや考えを発表したりノートに書いたりしている。	前期	64%	29%	7%	0%	86	1.43
		後期	60%	35%	5%	0%	86	1.44
児5	授業では、学級の友達と話し合う活動（ペア・グループ）をよくしている。	前期	81%	17%	1%	0%	86	1.20
		後期	84%	15%	1%	0%	86	1.17
児6	授業では、chromebook（クロムブック）をよく使っている。	前期	71%	27%	2%	0%	86	1.31
		後期	72%	27%	0%	1%	86	1.30
児7	chromebook（クロムブック）の使い方は分かる。 (教えてもらった場合も含む)	前期	90%	10%	0%	0%	86	1.10
		後期	87%	8%	1%	4%	86	1.21

- ・どの学年も、自分の意見を書いたり、話合いで意見を述べたりすることに自信を持っており、主体的で対話的な学びの実践の積み重ねの成果が見られる。
- ・授業で、学習効果を考えて適切にchromebookを活用する場面が増えている。日常的な取組により、教師も児童も共にICT活用能力が向上している。ICTを効果的に活用することによって、協働的な学びを実践することができ、思考力・判断力・表現力の育成にもつながっている。また、学習の個別最適化も可能となり、主体的な学習態度が育っている。今後も、ICT教育を効果的に進めていく。
- ・chromebookの使い方については、児童自身が自分なりの活用方法を見出して「やってみよう。」と思ったときに、指導者が対応しきれないこともある。また、使用頻度が多くなると以前よりも高度な操作をする場面も出てくるので、児童にとって不安な部分もあるのかも知れない。指導者の自己研究はもちろん、ICT支援員を効果的に活用できるようにし、児童の「分からぬ」に対応していく。家庭学習については、積極的にchromebookを活用することができている。今後も、多様な課題の出し方を研究し、取り組んでいきたい。

4 命を大切にする教育の推進（心の教育・防災教育・情報教育）							
	児童・生徒の行動	前期	65%	29%	5%	1%	86 1.42
		後期	67%	26%	5%	2%	86 1.42
児9	言葉づかいに気を付けて、友達と、話したり遊んだりしている。	前期	79%	20%	1%	0%	86 1.22
児10	友達に優しく接している。（同じ学年の友達だけではなく他の学年の友達も含む）	後期	84%	16%	0%	0%	86 1.16
児11	学校のきまりが、守れている。	前期	69%	28%	2%	1%	86 1.32
児12	学校では、自分や友達の安全に気をつけて行動している。	後期	84%	16%	0%	0%	86 1.16
児13	学校で地震や火事が起ったとき、どういう行動をとればいいか分かっている。	前期	88%	10%	0%	1%	86 1.14
児22	家の人がいないときに、地震などの災害が起ったとき、どうすればいいか話をしている。	後期	92%	7%	0%	1%	86 1.10
児20	家で、ゲームやSNSのきまりを守って遊んでいる。	前期	79%	16%	3%	1%	86 1.27
保4	学校は、言葉遣いや規範意識を高めるための指導に努めている。	後期	86%	9%	2%	2%	86 1.21
保5	学校は、児童の安全確保や施設・設備の安全管理ができている。（感染予防対策の徹底と適切な対応を含む。）	前期	36%	62%	1%	0%	77 1.65
保6	学校は、自分や他の人の命を大切にする教育（心の教育・人権教育・防災教育・情報教育・交通安全教育）の推進に努めている。	後期	45%	53%	3%	0%	80 1.58
保7	学校は、校報やホームページ、学級通信等で情報を伝えている。	前期	60%	39%	1%	0%	77 1.42
保11	お子様は、明るく思いやりのある子に育っている。	後期	63%	35%	2%	0%	80 1.40
保12	お子様は、正しく判断し行動できる子に育っている。	前期	49%	51%	0%	0%	77 1.51
保18	お子様は、ゲームやSNSについて、学校や家庭のルールを守って利用している。	後期	55%	44%	1%	0%	80 1.46
保19	地震等の災害が起った場合の対応を、お子様と話し合っている。（避難場所、連絡方法、保護者不在時の対応等）	前期	60%	36%	4%	0%	77 1.44
保20	お子様は、ゲームやSNSについて、学校や家庭のルールを守って利用している。	後期	72%	28%	6%	0%	80 1.28
		前期	43%	56%	1%	0%	77 1.58
		後期	53%	48%	0%	0%	80 1.48
		前期	27%	66%	6%	0%	77 1.79
		後期	31%	66%	3%	0%	81 1.71
		前期	22%	60%	17%	1%	77 1.97
		後期	24%	58%	15%	4%	80 1.99
		前期	21%	69%	10%	0%	77 1.90
		後期	19%	66%	14%	1%	80 1.98
		前期	57%	39%	4%	0%	77 1.47
		後期	66%	29%	5%	0%	80 1.39

- ・前期よりもマイナス評価となっている項目は、ほとんどない。
- ・0.1未満ではあるが、わずかにマイナス評価の項目は、保18と保19。
- ・保18：例年の傾向であるが、他の項目に比べると評価が低めである。家庭内において親子でしっかりと話し合ってルールを定め、それを守ること、守れているかどうかをお互いに点検することなど、引き続き具体的な視点で改善が進むよう、学校からも投げかけていきたい。
- ・保19：学校以外の場所や時間帯で災害が起ったときの対応について、前期より0.08ポイント下がっている。しかし、定期的に地震、火災、原子力事故等の避難訓練を行っている児童の評価は、0.28ポイントよくなっている。保護者については、1学期の引き渡し訓練や8月の日向灘地震から日が経っているので、危機意識が継続しにくく、児童との話し合いが十分にできていないとの評価となったのかも知れない。特に低学年については、一度話し合ったことも忘れていることが多いと思われる所以、定期的に啓発を行っていく。

## 5 子どものよさや可能性を伸ばす教育の推進

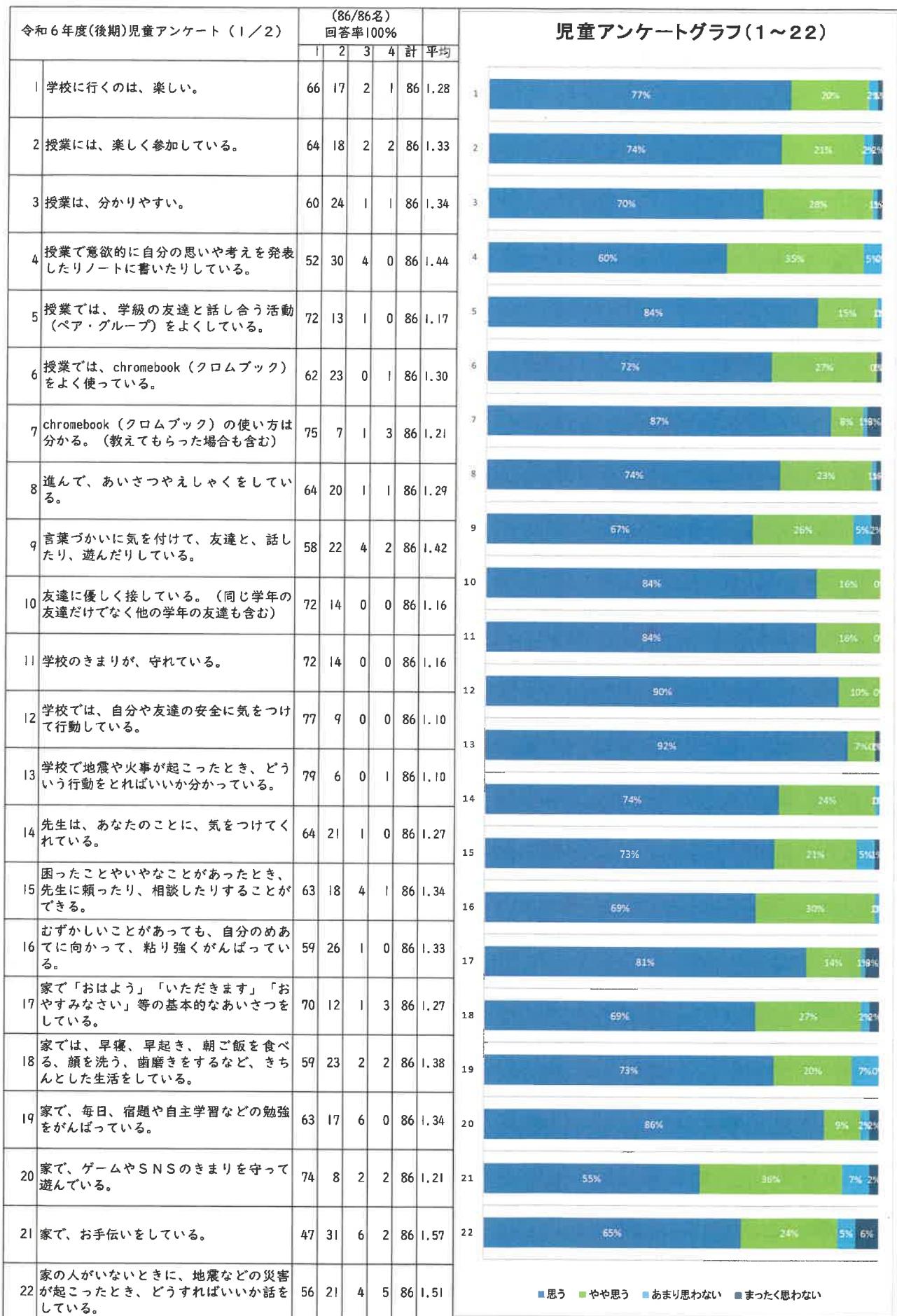
児14	先生は、あなたのことを気にかけてくれている。	前期	80%	19%	1%	0%	86	1.21
		後期	74%	24%	1%	0%	86	1.27
児15	困ったことやいやなことがあったとき、先生に頼つたり、相談したりすることができる。	前期	74%	22%	3%	0%	86	1.29
		後期	73%	21%	5%	1%	86	1.34
児16	むずかしいことがあっても、自分のめあてに向かって、粘り強くがんばっている。	前期	71%	27%	2%	0%	86	1.31
		後期	69%	30%	1%	0%	86	1.33
保8	教職員は、一人一人のお子様の理解に努めている。	前期	49%	49%	1%	0%	77	1.52
		後期	50%	46%	4%	0%	80	1.54
保9	お子様と教職員は、良好な信頼関係を築いている。	前期	47%	52%	1%	0%	77	1.55
		後期	49%	46%	5%	0%	80	1.56
保10	お子様は、めあてに向かって粘り強くがんばる子に育っている。	前期	32%	60%	8%	0%	77	1.75
		後期	28%	66%	6%	0%	80	1.79

- ・前期に比べて、どの項目も変化はほとんどない。
- ・児童、保護者ともに「あまり思わない」との回答が数件あるので、できる範囲で聞き取りや経過観察を行うことで個別に対応し、改善できるように努力をする。
- ・児16と保10の評価ポイントの差が0.4強もある。学校での児童の頑張りが見えにくいことも考えられることから、計画帳への記録、学級通信や校報、ホームページなどもさらに活用し、頑張りを積極的に伝えていく努力をする必要がある。

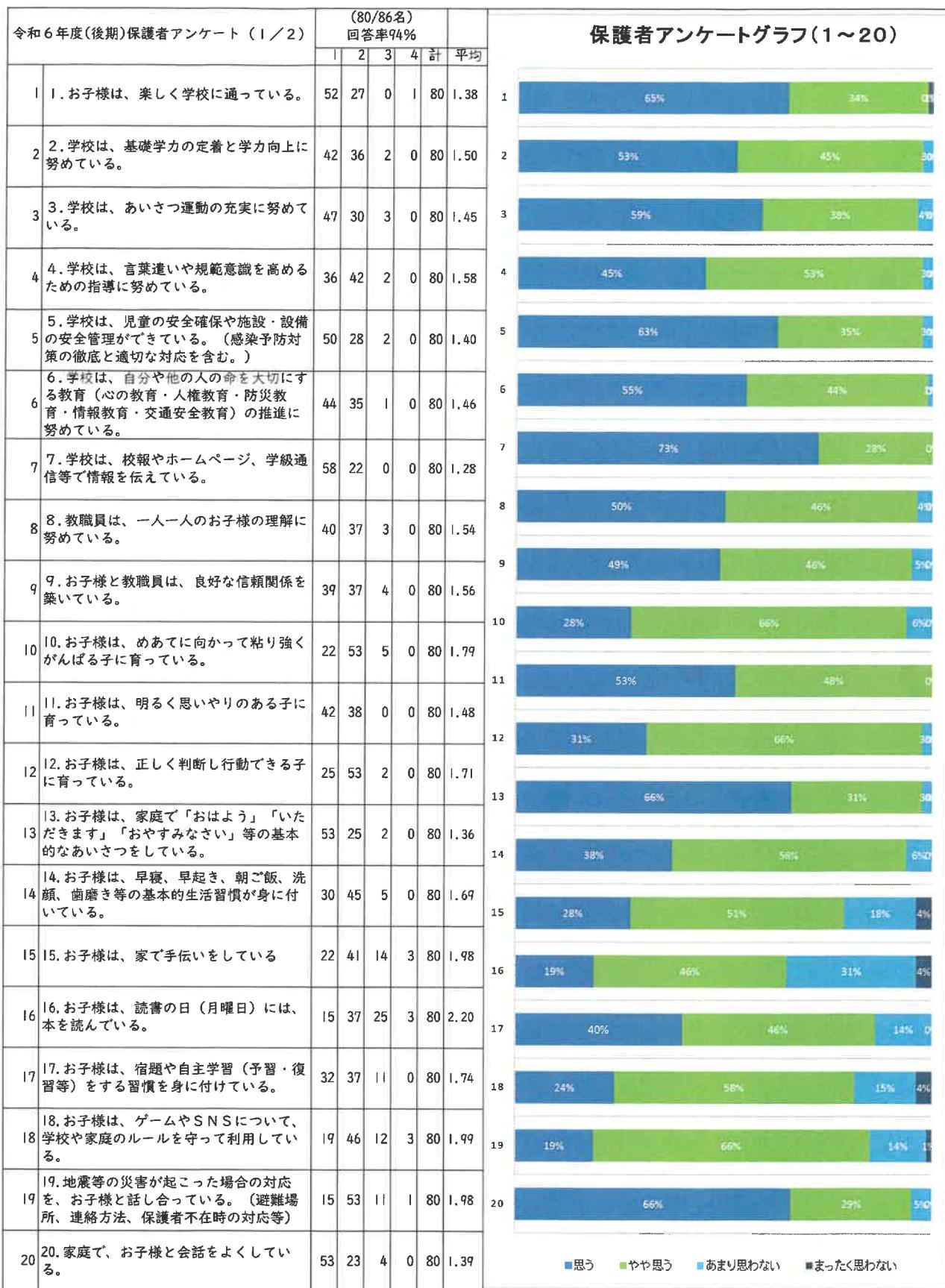
## 6 家庭の協力（基本的な生活習慣の育成、返事・挨拶、お手伝い）

児8	進んで、あいさつやえしゃくをしている。	前期	71%	23%	6%	0%	86	1.35
		後期	74%	23%	2%	0%	86	1.28
児17	家で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	前期	80%	10%	8%	1%	86	1.31
		後期	81%	14%	1%	3%	86	1.27
児18	家では、早寝、早起き、朝ご飯を食べる、顔を洗う、歯磨きをするなど、きちんとした生活をしている。	前期	66%	27%	7%	0%	86	1.41
		後期	69%	27%	2%	2%	86	1.38
児21	家で、お手伝いをしている。	前期	53%	31%	8%	7%	86	1.69
		後期	55%	36%	7%	2%	86	1.57
保3	学校はあいさつ運動の充実に努めている。	前期	49%	44%	5%	1%	77	1.58
		後期	59%	38%	4%	0%	80	1.45
保13	お子様は、家庭で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	前期	66%	29%	5%	0%	77	1.39
		後期	66%	31%	3%	0%	80	1.36
保14	お子様は、早寝、早起き、朝ご飯、洗顔、歯磨き等の基本的生活習慣が身に付いている。	前期	40%	53%	6%	0%	77	1.66
		後期	38%	56%	6%	0%	80	1.69
保15	お子様は、家で手伝いをしている	前期	21%	60%	16%	4%	77	2.03
		後期	28%	51%	18%	4%	80	1.98

- ・ほぼすべての項目において、前期よりもマイナス評価となっているものはない。
- ・児21と保15の評価の誤差が、0.3ととても大きい。習慣化されたもの、家の人の忙しさに合わせて臨機応変に行うものなど様々である。学年の発達段階によっても、家の人の考え方と児童の思いに隔たりがあることも考えられる。学級活動や家庭科の授業などで意識的に取り上げ、具体的な手立てを取っていく。また、道徳科とも関連付けて、「家族の一員としての自覚」や「家族に対する感謝の気持ち」を育んでいくことにも力を入れる。
- ・元気アップ週間を通して、基本的な生活習慣が身に付くように取り組んでいるが、やはり個人差がある。家庭と学校の連携を密にし、足並みをそろえて共に教育力を発揮できるように努める。







学校教育をよりよいものにするために、参考にさせていただきます。学校に対するご要望、ご提案、ご意見等ありましたらご自由に、お書きください。（原文のまま）

★学校からの回答

①兄や姉がいない場合学校での行事全てがはじめてのこと（当日の登下校や持ち物など）がわからず我が家に聞いてもわかつてなかったりと親子で行事のたびに不安なことが多いです。

↓↓↓

★不安なお気持ちお察しいたします。計画帳の書き方や学級通信等の工夫をして、少しでも分かりやすくなるよう努めます。

★何よりも、気になることや分からなきがあれば、どんな小さなことでも構いません、計画帳やお電話にてお気軽にご連絡ください。

②子どものちょっとした言動に気づき、細かく目を配っていただけているなと思っています。クラス内の些細な問題にも時間を使って子どもたちと向き合ってくださり、ありがとうございます。

↓↓↓

★いつも温かく見守っていただき、ありがとうございます。引き続き、しっかりとアンテナを張り、児童理解や学級づくりに努めます。

③いつも熱心に指導いただき、感謝しております

インフルエンザによって学年閉鎖になったと聞きました。昨年も、この時期に流行したと記憶しております  
市内の音楽発表会の後、学習発表会があり、そこで感染拡大するのではないかでしょうか？市内の音楽発表会の前に学習発表会をするなど、検討する必要もあるのではないかでしょうか？コロナが5類に変わったからといって、他の感染症もあります

マイコプラズマ、手足口病など季節問わず流行しています

行事の予定を前後できないのであれば、発表会の日、観覧する時は生徒全員マスク着用するなど、感染対策を行う必要があると思います。長々となり、申し訳ありません

↓↓↓

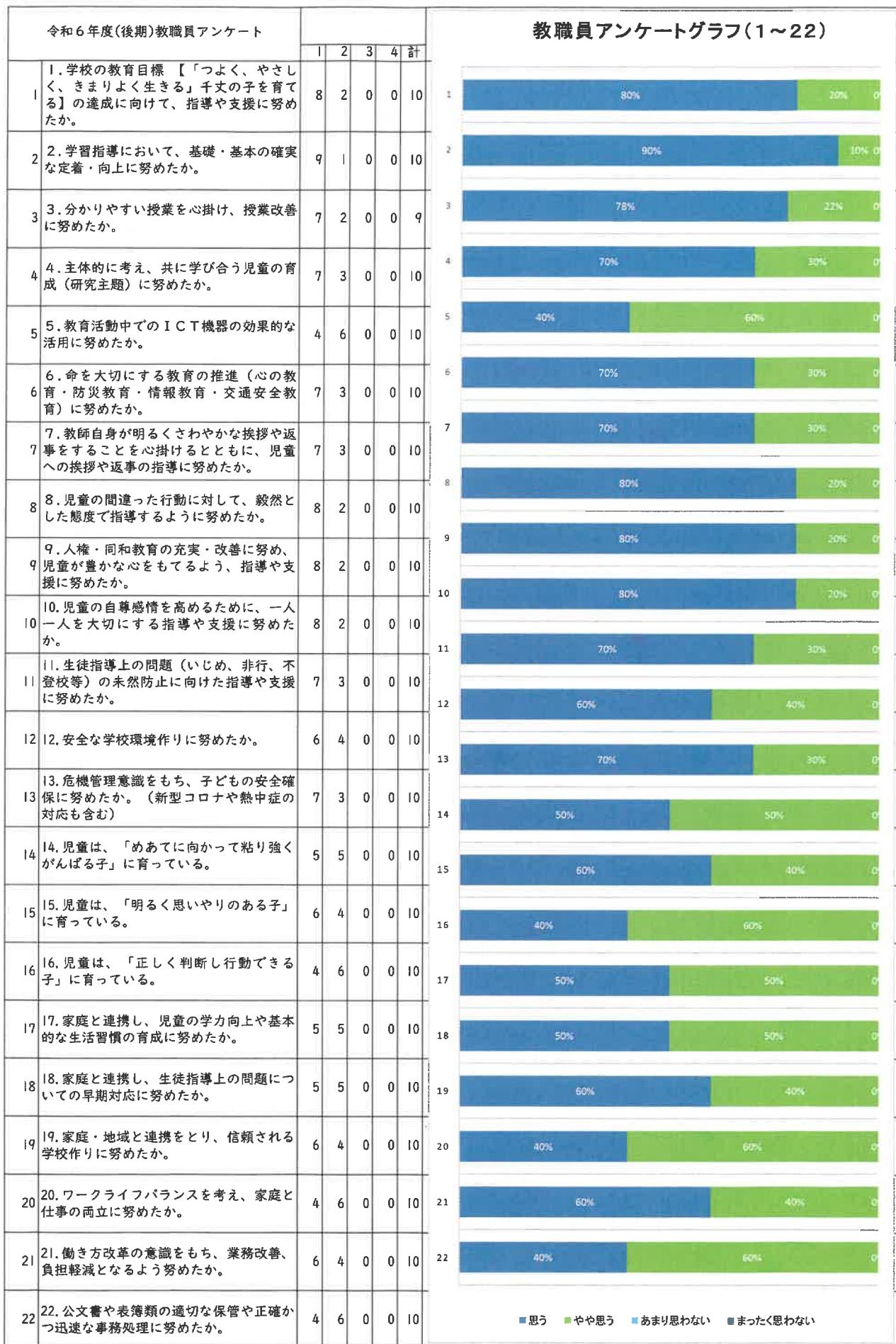
★昨年度の本校のインフルエンザ流行は12月下旬でした。

今年度のインフルエンザ流行は、八幡浜市内で本校が一番始めでしたので、音楽発表会が本校の感染拡大の原因だと言い切ることはできにくいかと思われます。行事予定の時期につきましては、様々な諸行事との兼ね合いもあり時期をずらすことが大変難しい状況です。今後は、感染症が発生していない場合でも、学習発表会の時にはマスクを着用するなどの感染症対策を徹底することとします。

④先日の学習発表会で、6年生は欠席児童が2名いたにも関わらず、そのことが分からないほど、クラス全員でフォローし合いながら最高の舞台を見せてくれました。素晴らしい学級に育っているんだな、と感動しました。ありがとうございました。

↓↓↓

★ありがとうございます。保護者のみなさまのお力添えがあってこそお子様の成長です。後日、全員そろっての再演の際にも温かいご声援をいただき誠にありがとうございました。



教育計画に基づいた番号	
学校目標・校訓 (1 14 15 16)	
学習指導 (2 3 4 5)	
心の教育 (6 9 10)	
生徒指導 (7 8 11)	
安全・安心 (12 13)	
家庭との連携 (17 18 19)	
働き方改革 (20 21)	
事務管理 (22)	
考察	
・肯定的な回答が多く、円滑に学校運営を進めることに努めていること、成果を実感していることがうかがえる。	
・家庭との連携や生徒指導面については、後期も学校（教職員）全体で情報を共有し、担任や担当など一部の教職員で抱え込むことのないようチームで取り組むことができている。今後もケース会議の計画的開催や教育支援室、教育相談員との連携を図りながら、児童や家庭のためによりよい方法をしっかりと考えていく。	
・ワークライフバランスや働き方改革については、前期に比べてポイントが上がっている。業務に関する精選や分担に関して共通理解を図ることで、よりよい体制や環境で教育活動を行うことができたと考えられる。	
・引き続き、職員減によるそれぞれの負担の増加を相互のカバーにより補い合っていく体制を継続していく。また職員室の温かい雰囲気作りや何でも悩みを言い合える関係性づくりを心掛けていく。	
・学校での業務と同様、教職員自身の家庭や健康を大切にする。	